

8.

社会貢献

▶社会貢献

ジェンダー研究所所属研究者は、行政機関が開催する男女共同参画関連講座の講師を担当したり、メディアの専門家取材に応じるなど、研究成果の社会還元に取り組んでいる。2023年度もオンラインならびに対面の講演会での講演や各種メディアの取材対応など、ジェンダー研究の成果を積極的に発信した。

■海外機関招聘講演等

申琪榮（教授）

- ・ 駐新潟大韓民国総領事館主催 「韓日未来フォーラム」、講演「少子化を考えてみましょう」、信州大学、2023年6月13日

■他大学や研究機関での講演等

大橋史恵（准教授）

- ・ 慶應義塾大学 2023年度東アジア研究所講座「歴史のなかの中国社会：疎外と連帯」第10回、「現代中国における女性運動の問い——「親密性」と「親密性の労働」を中心に——」、慶應義塾大学三田キャンパス、2023年6月23日

嶽本新奈（特任講師）

- ・ 日本大学芸術学部 日芸映画祭 2023「移民とわたしたち」主催 「木村莊十二監督『からゆきさん』（1937）と日本の『からゆきさん』の歴史」、渋谷ユーロスペース、2023年12月3日

本山央子（特任リサーチフェロー）

- ・ 早稲田大学 Women, Peace, and Security Workshop 講演 “A Critical Reflection on WPS Agenda”、2023年11月24日
- ・ 明治学院大学国際平和研究所 赤十字講座「武力紛争とジェンダー」、2023年12月9日

■男女共同参画センターやNPO法人等での講演

申琪榮（教授）

- ・ 「意思決定の場にもっと女性を！」『女性政治リーダーシップ養成合宿』（一社）パリテ・アカデミー主催、福岡県男女共同参画センターあすばる、2024年3月9日
- ・ 「ポストクオータの韓国政治における女性の政治参画」国際婦人年連絡会主催、オンライン開催、2024年2月28日
- ・ 「そうか！私のモヤモヤと政治との関係」大田区男女平等推進センター主催『私サイズの社会参画』、2024年1月28日
- ・ 「出生率0.78から考える韓国の少子化対策」福岡・女性議員を増やす会主催 女性の政治スクール、2023年10月14日

■ 他大学や地方公共団体の男女共同参画事業への参与

申琪榮（教授）

- ・ 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）岩手大学「I.W.A.T.E. 1 in 3 女性リーダー職研究者倍増プラン」アドバイザーボード委員会 委員長

■ NPO 事業への参与

申琪榮（教授）

- ・ 女性政治リーダーを養成する一般社団法人「パリテ・アカデミー」(Academy for Gender Parity) 共同代表。一般向けオンライン講座や講演会を企画・開催。

■ 新聞等記事へのコメント提供ほか

申琪榮（教授）

- ・ 『ふえみん No.3351』 2023 年 5 月 5 日「女性議員を増やす気運は上がった」
- ・ 『南日本新聞』『山梨日日新聞』『福島民友』『岩手日報』ほか 2023 年 5 月 7 日「女性最多更新 22 議会」
- ・ 『高知新聞』ほか 2023 年 5 月 8 日「女性最多更新 22 議会」
- ・ 『朝日新聞デジタル』 2023 年 5 月 21 日「女性研究者増やす一手 国立大でリーダー育成 学びやすい環境不可欠」 <https://www.asahi.com/articles/ASR5N7WCHR4KULUC004.html>
- ・ 『毎日新聞』 2023 年 5 月 22 日「オピニオン ネットの名前で立候補 OK？」 <https://mainichi.jp/articles/20230522/ddm/004/010/011000c>
- ・ 『社会新報』 2023 年 6 月 14 日「女性議員の比率増」は地方議会から
- ・ 『週刊金曜日 7 月 7 日 (1431) 号』 2023 年 7 月 7 日「今週のジェンダー情報 男女格差指数 125 位の日本」
- ・ 『読売中高生新聞』 2023 年 7 月 7 日「男女格差 日本は？ 閉鎖的な体質壊すには...強制力ある政策必要」
- ・ 『東京新聞』 2023 年 9 月 13 日「女性初入閣が 3 人とも「世襲」、5 人入閣は「最多タイ」...改造内閣の人事が映す自民党の現状」 <https://www.tokyo-np.co.jp/article/277181?rct=politics>
- ・ 『朝日新聞』 2023 年 9 月 13 日「女性閣僚増やすには.....過去最多タイも、起用に「5 人の壁」」 <https://www.asahi.com/articles/ASR9F63V2R9FUTIL016.html>
- ・ 『日本経済新聞』 2023 年 9 月 14 日「女性閣僚の意味 見える景色を変えていこう」 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCD1309S0T10C23A9000000/>
- ・ 『佐賀新聞』 2023 年 12 月 14 日「オピニオン 相克の日韓 「認識の変化、日本は正念場」」
- ・ 『西日本新聞』 2024 年 1 月 23 日「【政治とカネ わたしはこう見る】事件の背景に男性中心社会」 <https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1170518/>
- ・ 『世界 3 月号』 2024 年 3 月 1 日「派閥政治の核心 ジェンダー化された世襲がもたらしたもの」